

介護保険

国に対する意見書が可決されました

政府は社会保障の大改悪をねらい、来年の通常国会に向けて、法案・予算案を提出するという暴走を始めています。介護保険については、180を超える地方議会で国に意見書が可決されており、神戸市議会でも、10月26日の市会本会議で、福祉用具及び住宅改修について保険給付を継続するよう国に求める意見書（「次期介護保険制度改正における福祉用具及び住宅改修の見直しに関する意見書」）が全会一致で可決されました。

引き続き要望していきます……

高齢者も障がい者も外出しやすいまちに

- 明舞団地北部から垂水駅までのバス路線の開設
- 高齢者が多く、外出に不便な地域での移動手段の対策
- 必要なバス停にベンチや日よけの設置



子どもたちから「砂場をつくってください」と言われました

こどもに優しいまちに

- 学園南地区に中学校の新設
- 垂水区内に認可保育所を
- 休日保育ができる保育園の増設
- ひとり親家庭への支援策の拡充。父子家庭にも福祉乗車証を



舞多間の公園で



ベンチができました（山陽・「霞ヶ丘5丁目」）

学園南地区

交通渋滞などの改善を強く求めています

「土曜・休日は、10数分もバスの到着が遅れることがあります」。深刻さを増す学園都市駅方面以南・県道長坂垂水（488号）線の交通渋滞。赤田議員は、6月の一般質問で取り上げました。さらに2017年6月には小束山手2丁目のゴルフ練習場跡地に、24時間営業の商業施設が出店します。街の景観、治安、交通安全など課題は山積していますが、引き続き、改善のために力を入れていきます。

DV独りで悩まずに

DV（ドメスティックバイオレンス）は増加の一途をたどっています。被害に遭われている方の救済と保護、福祉の充実がますます重要になってきています。ひとりで悩んでいませんか？ 困ったときは、たずねてみてください。



DVの相談窓口

神戸市配偶者暴力相談支援センター
078-382-0037

受付時間 ▶ 午前9時から午後5時まで
（年末年始を除き毎日実施）

兵庫県配偶者暴力相談支援センター
078-732-7700

受付時間 ▶ 午前9時から午後9時まで
（年末年始を除き毎日実施）

垂水区役所でも婦人相談員がDVの悩みに対応しています。赤田議員は専門相談員の24時間配置と、加害者の更生をはかるための対策の実施を求めています。



垂水養護学校

青陽西養護学校

垂水区から養護学校をなくしていいのでしょうか！

垂水養護学校と青陽西養護学校は西区に移転統合され、来年4月に「いぶき明生支援学校（仮称）」が開校します（11月議会で両校の廃止条例案が審議されました）。神戸市は両校の跡地を「全市民的な観点から検討する」としています。「移転するの？知らなかった！」「跡地はどうなるのですか」「売却はしないでほしい」などといった声があがっています。区民からの要望をしっかりと取り入れるべきです。

適正規模は200人まで

障がいをもつ子どもは増え続け、市内の障がい児学校（特別支援学校）はどこも過密状態です。新しい学校の規模は300人。障がい児学校としてはマンモス校です。

学校が大規模化すると、子どもたちへの目が行き届きにくくなります。神戸市が設置した懇話会でも、「ソフト・ハードの両面から良好な教育環境を整えるためには、児童生徒数からみて、200人程度までの規模の学校を整備することが望ましい」と指摘しています。（神戸市における特別支援学校整備の在り方懇話会・「神戸市における今後の特別支援学校の整備について」より）

垂水区から養護学校をなくしてしまってもいいのでしょうか。これから子育てをする世代にとっても障がい児学校は必要です。今井まさこ・赤田かつのり両議員は市議会で、「跡地は勝手に売却するべきではない」「垂水区に養護学校を残すべき」などと主張しました。

困っている人をほっとけない！ 福祉・くらしを守る

神戸市議員

赤田 かつのり

KATSUNORI AKADA



いぶき明生支援学校

青陽西養護学校



垂水養護学校



事務所連絡先

垂水区坂上4-2-16 TEL ▶ 753-5287 FAX ▶ 753-5289

mail ▶ jcpkobewest@sea.plala.or.jp



赤田かつのり

検索

日本共産党 神戸市会報告

垂水区西部版 2016年 秋・冬号

発行 日本共産党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議会HP <http://www.jcp-kobe.com/>